

めむろてつなん ほいくしよ

保育理念

《生命尊重》

1. 人との信頼関係の基礎を培う保育
(愛情・やさしさ)
2. 自立の心を育てる保育 (心身の健康・基本的生活習慣)
3. 生きる力の基礎を培う保育
(自ら育つ力・学ぶ力・創造する力)
4. 三位一体の保育
(子ども、保護者、保育者の協力と信頼関係・向上)

保育目標

《たくましく心豊かな子どもに育てよう》

こども像

《*やさしい心 *丈夫な身体 *考える力》



てつなん保育所には
保育のテーマが
あります。それは...

「幸せ大家族」です。

一人ひとりの子ども達にとって、保育所がそれぞれの家族の様に、心安らぐ居心地の良い場所であってほしいと願い、職員全体で話し合い決めました。〇〇組だから、〇オだからという、大人が決めた枠に入れず、自分らしさを十分に発揮し、のびのびとたっぷり遊び、お腹がすいてご飯をモリモリ食べ、ぐっすり眠る。そして「今日も楽しかった、明日も〇〇して遊びたい」と笑顔で帰っていく。

子どもらしく生き生きと、たくましく生きていくことが出来る様、保護者の皆様方と手を取り合い、子ども達の育ちを第一に考える保育作りに努力していきたいと思っています。



保育所のいちにち



朝 遊戯室・午睡室で
子ども達の受け入れをします。
異年齢児と一緒に過ごします。
大きい子が小さい子のお世話を
してくれる事が多く、ほっこりする
時間でもあります。

天気の良い日は、園庭に出て
遊びます。



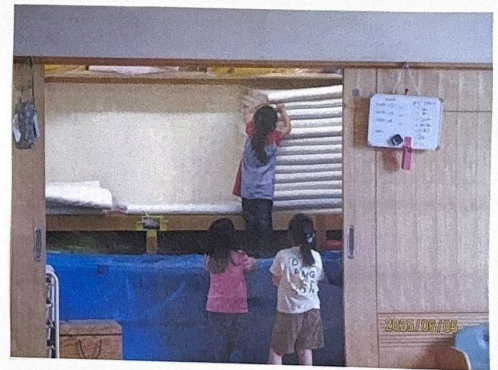
朝の会 お片付け後は
それぞれのお部屋に入り、
歌をうたったり、絵本を見たり、
今日いちにちの流れを確認
します。大きいクラスはお当番
活動をしたり
小さいクラスは
水分補給の
時間になります。



午前中 お部屋で制作活動
をしたり、園庭で遊ん
だり、近隣の公園に出かけたり
します。大きいクラスになると、
駅や図書館、あいあい公園など、遠くの目的地
まで足を延ばす事もあります。



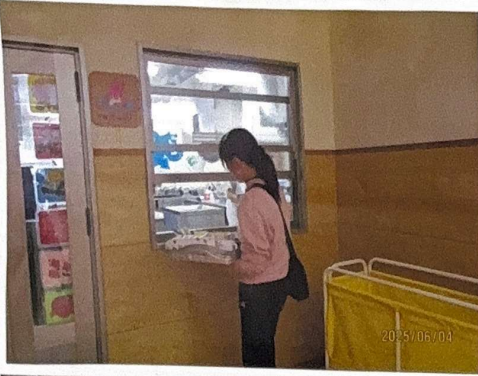
お布団敷き当番 毎年、年長児
の役割としてお昼寝の時に
使うお布団を敷いてもらうお当番
をお願いしています。子ども同士で相談しながら
協力し合って敷いてくれています。



給食

小さいクラスは職員が配膳しますが、大きい
クラスはバイキング形式で自分で盛り付けを
しています。汁ものや大きなヤカンからお茶を
ついたり、牛乳を入れたりするの、だんだん上手になります。





給食・おやつは離乳食、きざみ食、アレルギー食にも対応しています。栄養士・調理員と連携をとりながら安心・安全な食事の提供を心がけています。

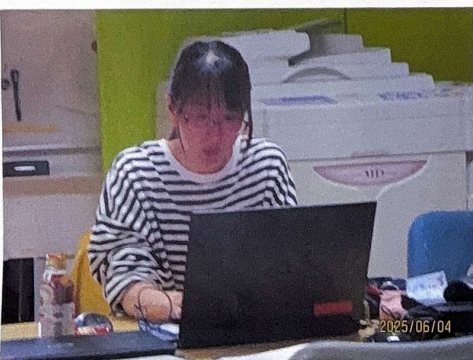
午睡 給食の後はお昼寝です。背中をかくてほしい子やトントンが心地良い子、1人で

そっとしておいてほしい子など、眠る時の様子に合わせて、休息が取れるようにしています。0・1才児はSIDSチェック表をつけて眠っている時の様子も確認しています。

その間に保育士は交代で休憩を取ります。



昼食をとり、甘いお菓子やヨーハーで一服しながら、子ども達のかわいかったエピソードなどを話し合う事もあります。



その他、色々な会議をする時間を設けたり、一日の様子の西己信、ホームページの作成、行事の準備制作準備等の事務仕事も行います。



おやつ～お迎えまで お昼寝から起きたらおやつを食べます。眠る前にほどこいた髪を結んでいます。この髪型にしてほしい、とリクエストされる事もあります。

おやつ後は保護者が迎えに来るまで保育室や遊戯室、天気が良ければ園庭に出て、好きな遊びを楽しみます。その間、保育室の清掃や使用した玩具の消毒、ゴミ出し、洗濯等も同時進行していきます。送迎の保護者とのコミュニケーションも大切な時間です。



18:30以降 延長保育の時間は軽食(おにぎり)を食べてお迎えを待ちます。残り少なくなった子どもたちが淋しくならないように一緒に遊びます。各クラスの施設の確認・点検や翌日以降の保育の準備等をして19:15に勤務終了となります。

勤務時間 保育士の勤務時間は現在は10通りの時差出勤で、開所から閉所まで、子ども達が安心、安全で楽しく過ごせるように連携を取り合っています。午前中だけ、午後だけ、のパートの先生にも力を借りています。

病後児保育室 病気の回復期に利用できるお部屋があり、看護師が常勤しています。普段から保育の補助や身体測定の実施、怪我の担当、体調不良の子への対応など様々な場面で活躍しています。